

令和6年度 第2回富里市図書館協議会 会議録

とみらいテラス(富里市立図書館)

- 1 期 日 令和7年3月19日(水)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時15分
- 2 場 所 とみらいテラス2階多目的室
- 3 出席委員 会 長 寺 内 勝 也
副 会 長 高 橋 正 名
委 員 山 森 大 樹
委 員 塚 本 さ と み
委 員 越 川 美 佳
委 員 三 浦 光 子
委 員 渡 邊 義 幸
- 4 出席職員 教 育 長 吉 野 光 好
図 書 館 長 吉 林 昌 寿
図 書 館 武 藤 弘 之
図 書 館 小 倉 康 志

令和7年 3 月 27 日

署名人 塚本 さとみ

署名人 山森 大樹

1 開会

【事務局】令和6年度第2回富里市図書館協議会を開会する。

2 あいさつ

【教育長】あいさつ

議事録署名人の指名

山森大樹委員と塚本さとみ委員が指名された。

3 協議事項

【会 長】(1) 令和7年度とみさと教育プラン(案)について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明。

【会 長】質問や意見があればお願いしたい。

【委 員】質疑なし

【会 長】(2) 令和7年度富里市立図書館蔵書計画(案)について、説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明。

【会 長】質問や意見があればお願いしたい。

【委 員】資料4頁に資料費600万円の金額で提示されているのに対して、資料9頁には金額850万円を超える金額で予算計上されているが、この違いは何か。

【事務局】資料9頁の金額は図書購入費600万円と併せて、新聞及び雑誌購入費の金額が含まれていることによるものである。

【委 員】資料4頁にある『資料』購入費の『資料』は図書購入費との理解で良いか。

【事務局】その理解で問題ない。

【委 員】資料4頁にある資料購入費・購入冊数の推移について、令和6年度は図書購入費が増額になったにも関わらず、購入冊数が2,742冊に留まっている理由は何か。

【事務局】令和6年度の購入冊数が2,742冊となっている理由は、当該数値が令和6年12月現在の購入冊数のためであり、令和6年度の年間通じての購入冊数は3,500冊程度になる見込みである。

【委 員】図書についても物価高騰の影響で、令和元年よりも単価が190円から200円程度上昇している。

そのため、資料購入費が同額のまま推移すると、過年度と比較し

た際に資料の収集冊数に影響が出てくる。

今後の予算要求時には、そういった事情を踏まえてベースアップしつつ、予算計上していくことが望ましいと思うので、引き続き尽力願いたい。

それと併せて、今後も様々な学習内容に適した資料の収集に努めるとのことであったが、図書館に来る際に利用したバスの乗客の3分の2位が外国籍の人だった。

読書バリアフリー法も制定もあり、富里市在住の外国の方の言語で書かれた本の収集が望まれるところであるが、こういった国の方が多く居住するのか伺いたい。

【事務局】フィリピン出身の方が最も多いと認識している。

その他の国では、スリランカ等のアジア圏の方が多いと聞いている。

富里市は外国人の居住率が県内でも高いという地域事情もあるので、そういった方々にも個々の言語に応じた資料の提供ができるようにして参りたい。

【委員】資料16頁にある親子読書支援コンシェルジュについて、何名体制で対応しているのか伺いたい。

【事務局】現在、専門の会計年度任用職員1名を採用し対応している。

【委員】資料中にある実績を見ると、件数が膨大であるように思うが、1名体制の運用では不足であるように思う。

増員の検討はしないのか。

【事務局】夏休みの時期等、忙しい時期があることは認識しているので、今後については動向を見ながら、増員が必要な場合は予算措置等、対応を図りたい。

【会長】他に質問等なれば、(3)のその他について説明等願いたい。

【事務局】この場で、各委員より取り扱いたい案件等あれば、お願いしたい。

【委員】特になし。

【会長】他に質問等なければ以上で議事を終了とする。

協議事項終了後、教育長及び館長退席。

4 報告事項

【事務局】(1)とみらいテラス(富里市立図書館)複合化の利用状況について、配布資料に基づき説明。

【事務局】(2) 富里市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部変更について、配布資料に基づき説明。

【事務局】(3) 第1回図書館協議会で示した、「第3次子ども読書活動推進計画」について説明。

本件は、第1回図書館協議会の後、11月開催の教育委員会議、12月開催の市議会常任委員会での報告を経て、令和7年1月に図書館ホームページにて、今回配布した冊子状のもの及び概要版を公開済である。

事務局からの報告は以上となるが、質問等あればお願いしたい。

【委員】第2回の富里映画祭について、市内の学校に作品の募集を依頼するということだが、現状の見込等伺いたい。

【事務局】新年度の4月に入って、初回の校長会議にて作品募集の依頼をする予定である。

今年の1月の同会議でも一度説明させていただいている案件となるがショートムービーのような短い時間の動画の作成を、改めて依頼させていただく予定である。

長時間の動画作成は、作成の難易度が高く負担も大きいと思われることから、そのような形式を想定している。

また、お寄せいただいた動画については日本大学芸術学部の先生方コンテスト形式で審査していただき、優秀な作品を表彰する予定である。

【委員】聞き漏らしたかもしれないが、小中学校のみが対象か。

【事務局】富里高校への依頼も予定している。

富里高校は学校紹介の動画を作成していると聞いているが、学校側で不都合なければ、そういった動画の応募でも事務局的には問題ない。

【委員】読書活動推進計画の指標についてだが、今後、市内の新生児の人数は減少が見込まれているところで、ブックスタート事業の目標数値を現状よりも上積みした300組としているが適当な目標値ではないように思う。

それとブックトリップについてだが、全体の平均値は相応の成果が出ているように思うが、中学生の達成率は依然として低いように思う。

中学生の達成率が低い理由は、中学生が単純に本を読む読まないということよりも、ブックトリップで選ばれた本の中で読みたいと

思える本がないということもあるのではないかな。

従来の実施形式を改めることも検討してみてもどうか。

小学校間でも小規模校の達成率は高いが、大規模校になると子どもが読みたい本の所蔵数が不足しがちとなり、達成率が下がる傾向があるように思うがどうか。

本の所蔵数が不足しているため、子どもたちが本を読む機会が減ってしまっているのではないかな。

そういった学校間の事情も分析した上で、今後の第4次計画での指標を定める際には、数値目標を設定いただきたい。

【委員】第2回富里映画祭の作品募集の時期について確認したい。

4月に募集依頼するとのことであるが、どれぐらいの時期を予定しているか。

【事務局】7月上旬を予定している。

1月の校長会議で示した際は、募集期間が短かったこともあり、学校側にも配慮してそのようなスケジュールとさせていただいた次第である。

【委員】ブックトリップの実施方法の件であるが、以前より現場の意見は図書館側に提出されているものと認識しているが、そういった意見は、どの程度反映されているのか。

【事務局】図書の選定については、問題を共有して選んでいる。

ただし実施方法については、コロナ禍以降は大きな変更をしていないこともあるので、検討して参りたい。

【委員】ブックトリップの本の選定はどのような形で行うのか伺いたい。

【委員】本の選定は、図書館職員、学校司書が協力して選んでいる。

なるべく子どもが楽しめる内容のものを選ぶようにしているが、大規模校の図書集が不足するといった問題はどうしても起こり得る。

資料数の不足という問題については、図書館より当該本を借用して対応するといった対策を行っている。

ブックトリップのリストにある本の中で子どもたちが読みたい本がないといった意見は確かにあると思う。

また、学校職員の温度感でも達成率が上下するといった状況も現実としてある。

現場としては現在の対応に限界があるため、ブックトリップの実施方法については検討いただけるとありがたい。

【委員】ブックトリップの主たる目的は、子どもたちに本を読んでもらう

ことであると思う。

例えば、ブックトリップにポイント制を導入して、リスト化した本と、子どもが読みたい本を組み合わせた上で、リスト化した本には高いポイントを付す、子どもが読みたい本はポイントを抑えて付すといった運用はどうか。

子どもたちもゲーム感覚でポイントを集めることができ、関心を持って取り組むことができるのではないか。

現状の形式より大幅に変更となるが、そういった実施方法も検討してみてはどうか。

【事務局】図書館としても現場の負担が大きい旨は承知している。

現在の形式で今後も続けていくことも、場合によっては困難であることも理解している。

子どもたちの実態を踏まえて、事業の存続に関わることでもあるのでブックトリップの実施方法については検討して参りたい。

【委員】以前のブックトリップは、読了後に参加者が図書館の職員等からの内容について質問を受けて、回答できれば達成という形式で行われていたが、個人的には素晴らしい取組であったと感じている。

自分と普段関わりのない大人と接することは、コミュニケーション能力を育むことに繋がっていたと感じている。

もちろん現場の負担が大きいので、一概に以前の方式が良いとは言えない部分もある。

ただ、リスト化された本で厚さは薄い但内容は難しい本を子どもが選んだ際、質問に答えることができた時の達成感や経験は大きいものがあると思う。

【事務局】ブックトリップの実施方法について、様々な意見をいただき、ありがたく思う。

本会議の趣旨に合致するものであるので、今後の参考としたい。

【委員】富里映画祭の応募作品は、ジャンルを問わないのか。

【事務局】現在はノンジャンルで依頼する予定である。

【委員】浩養小学校敷地内に予約本の受け取りができるロッカーを設置するとのことであるが、こういった運用になるのか伺いたい。

【事務局】本件は、以前、浩養小学校敷地内にあった市民図書室の代替的な機能となる。

具体的には、利用者より本の予約を受け次第、図書館職員が本をロッカーに配送する。

配送後、利用者に本を収めたロッカーのナンバーと暗証番号を伝え、貸出手続きにお越しいただくといった形で運用予定である。

返却の際も、同敷地内にブックポストで完結できるような運用を想定している。

【委 員】 浩養小学校敷地内に予約本のロッカーを設置した理由は何か。

【事務局】 富里市内を北部・中央・南部でエリア分けすると、北部には北部コミュニティセンター、中央には図書館本館があるが、南部のみ、そういった機能が失われているといった地域事情を考えたものである。

【委 員】 将来的には、北部にも当該ロッカーの設置を希望したい。

【事務局】 今回の試験運用を踏まえて、検討させていただきたい。

他に意見等あればお願いしたい。

【委 員】 特になし。

7 閉会

【事務局】 令和6年度第2回富里市図書館協議会を閉会する。